

普及活動情勢報告（令和2年6月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

1日も早いコロナ収束を願って ～新型コロナウイルスの影響に対する緊急経済対策支援策の周知～



給付金の周知を行う普及指導員（右）

5月25日から6月4日にかけて当課は系統外花き生産者を中心に持続化給付金や高収益作物次期作支援交付金等の支援策の周知を個別巡回にて実施しました。

個人差はありましたが、月の売り上げが100万円以上減少している方や次作は栽培面積を減らす意向の方もいました。

生産者からは「給付金の存在は知っていたが申請の仕方が分からなかったので説明してくれて助かった」「国だけでなく県独自の支援策を作してほしい」などの意見がありました。

当課は今後も各関係機関と連携し、コロナの影響を受けた生産者を支援していきます。

I o Pクラウドのシステム構築に向け ～協力依頼のため農家に説明～



I o Pクラウドの概要を説明

農業イノベーション推進課I o P推進室が、今年度I o Pクラウドのシステムを構築するため、高知県内の園芸農家からハウス内の環境データや生育情報などを収集することになっています。

当課はI o P推進室の説明をうけ、6月からJ A土佐くろしおと協力し、ミョウガ、キュウリ、シシトウなどの調査協力農家23戸のリストアップと、I o Pクラウドの概要および調査協力依頼のため、農家に説明を行いました。

今後は、J Aと連携し、リストアップした農家へのフォローを行っていきます。

促成栽培から雨除け栽培へ土着天敵リレー ～県内雨よけ産地との連携～



タバコカスミカメを採取中

高吾農業改良普及所管内の雨除けのピーマン生産者など12名（J A職員、高吾普及職員を含め）が須崎農業振興センター管内の促成シシトウ栽培の圃場で、土着天敵であるタバコカスミカメの採取を行いました。

当課は高吾農業改良普及所からタバコカスミカメの採取の依頼を受け、促成シシトウ栽培農家への協力依頼、日程・採取場所などの調整、当日の圃場案内を行いました。この取り組みはここ数年続けて行われています。

今後は、促成栽培の始まる時期に、高吾普及所管内の雨除け栽培から須崎農業振興センター管内の促成栽培に天敵がリレーができるよう、高吾農業改良普及所と連携を行っていきます。

集落営農組織等の組織化の推進 ～集落で話し合いませんか！～



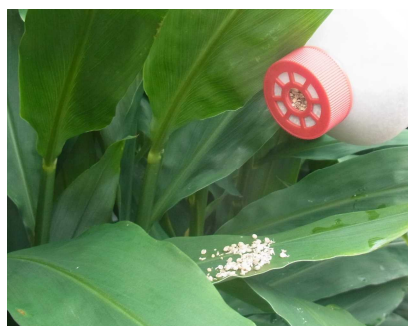
地域営農の継続に向けて

6月4日に中土佐町の大野見保健福祉センターにおいて、「中山間地域等直接支払制度（第5期）」の会議の中で、集落営農の組織化について、説明を行いました。

高齢化や耕作放棄地、米作りの現状と課題のある中で、集落で話し合えたらと投げかけを行いました。24集落中16集落からの参加があり、熱心に説明を聞いていました。

当課では、今後とも集落の座談会等で啓発を行っていきます。

天敵活用による害虫被害の低減のために ～津野山ミョウガ部会 IPM 実証ほ調査～



天敵の放飼

令和2年6月15、16日に津野山ミョウガ部会におけるIPM実証ほでの、モトジロアザミウマに対する天敵（リモニカスカブリダニ）の放飼を2戸で行いました。

津野山地域では近年モトジロアザミウマの被害が増加してきており、天敵を活用した防除技術の検討が必要となってきました。

当課は、今後週1回の調査を行い、津野山ミョウガ部会現地検討会等で実証結果の報告を行い、生産者のIPM技術の向上を促進し、津野山地域におけるミョウガの安定生産と増収に向けて支援を行っていきます。